

認知言語学と翻訳の新たな視点

南山大学外国語学部
今井 隆夫

はじめに

本稿は2021年2月28日、3月7日、3月14日の3日間に渡って行われた「通訳翻訳講座」第5回～10回の「認知言語学と翻訳の新たな視点」の講義内容をまとめたものである。本講義では、認知言語学の概念を受講生と共有し、通訳・翻訳分野で役立ててもらうことを目的とした。

授業で配布したハンドアウトに、説明の要点を枠内に示した形で纏めてある。

第5回

認知言語学から言語コミュニケーションを考える

I. コミュニケーションにおけるフレーム知識の重要性

Quiz 1: Don't think of an elephant! (George Lakoff: 2004)

- さて、象のことを考えなかった人はいますか？多分いないでしょう。
- 象と聞いて頭に浮かぶ知識をフレーム知識と言います。

Quiz 2: What relation was the mayor to the boy?

A man and his young son were apprehended in a robbery. The father was shot during the struggle and the son, in handcuffs, was rushed to the police station. As the police pulled the struggling boy into the station, the mayor, who had been called to the scene, looked up and said, "My God, it's my son!"

- 答えは、市長は男の子の母親です。
- 市長と聞いて、男性であると思った人は答えに辿り着けなかったかもしれません。
- 市長について持つフレーム知識が邪魔をした例と言えます。

Quiz 3: Rob はどこを旅してきたか？

- (a) Rob is reaching the shore.
- (b) Rob is reaching the coast.

- shore は海側から見た「岸」を coast は陸側から見た「海岸」を表します。
- (a)では Rob は船旅をしていて、(b)では陸上を車や徒歩で旅をしています。

☞次はそれぞれどこを旅するのか？

- (a) A journey from coast to coast. _____ の旅
- (b) A journey from shore to shore _____ の旅

(a)は大陸横断の旅を、(b)は海の旅を表します。

Quiz 4: _____に入る前置詞は？

- (1) I'm in trouble. Can you help me _____?
- (2) Alisha is on my mind. I can't get her _____ my mind.
- (3) Don't blow the dust _____ the table.

- ここでは、反意語フレームを意識すると答えがわかります。
- (1)は in の反対で out
- (2)は on の反対で off
- (3)は the dust は初め on the desk の状態にあったので、吹き飛ばす (blow) ことで off the desk の状態になりますので、off が正解です。

Quiz 5: What is the difference in meaning between these two?

- (a) Get away
- (b) Get off of me.

- away の反対は near, off の反対は on
- (a)は近くにいる人に「あっち行って!」、(b)は触ってきた人に「離れて!」という意味です。

【フレームとは? : What is frame?】

1. A good understanding of a word requires a significant amount of knowledge that extends well beyond the dictionary definition. We refer to this background knowledge as the **frame**.
2. There is a close connection between the concept of frame and that of foregrounding. Consider, for example, a word such as *hypotenuse*. This word derives its meaning from the concept of a right-angled triangle (even though it does not mean 'right-angled triangle'). The word *hypotenuse* designates (or 'profile' in Langacker's terminology) one element of a right-angled triangle, specifically the side opposite the right angle. (Lee 2001, p.8)

- ある語の意味を十分に理解するには、辞書の定義を超えた知識が必要で、このような知識をフレームと言います。
- フレームと前景化には深い関係がある。
- 斜辺 (*hypotenuse*) という概念を理解するには、直角三角形 (a right angled triangle) を知る必要がある。斜辺という概念を理解する背景知識—直角三角形—はフレーム知識と言える。

Quiz 6: 次の文では、前半では母親でないと言い、後半では母親であると言っているのに contradictory (矛盾) でないのはなぜか？

Maria adopted John when he was a baby so she's not his real mother—but in fact she has been a wonderful mother to him. (cf. Lee 2008, p.9)

1つ目は、生物学的フレームで「生みの母親」を、2つ目は、社会的フレームで「育ての母親」の意味を表し、母親についての立ち上がるフレームが違うので矛盾しない。

II. 認知言語学 (Cognitive Linguistics)

Quiz 7: 次の2つの異なる事態がなぜ、同じ動詞 (rise) で表現されると思いますか？

- a. The balloon **rose** gently into the air.
- b. The hill **rises** gently from the bank of the river. (中村 2016: 2)

- 客観的には2つの違った事態であるが、人間の側から見て、視線の上昇という点では同じと言えるので、共に上昇を表す動詞 (rise) が用いられていると考えられる。

Quiz 8: なぜ、たんこぶは頭にくっついているわけではないのに on が使われているのか？

- a. There is a fly **on** your forehead.
- b. You have a bump **on** your forehead. (今井 2018:477)

- on は接触を表す。
- たんこぶは、額に接触してはいないが、接触してるように見えるので、on が用いられると考えられる。
- すべての言語表現には、人が事態をどう捉えているかが反映されている。

<認知言語学の特徴>

- a 人が事態をどのように捉えているかが言語表現に表れているという立場。
- b それゆえ、すべての言語表現は程度の差はあれ**主観的**。
cf. 認知言語学は、**見る側視点 (主観)**の言語学である。(中村 2016: 1)
- c 認知とは、あることを手掛かりに別のあることを連想・想起すること。(P.C.山梨)
- d 認知能力 ⇒ 言語、芸術、ファッション、料理、スポーツなどに反映している。
- e 認知能力から言語現象を説明
- f 言語現象の説明から、人の認知の一部を解明

III. 認知能力

- ①図と地の分化・反転 (figure-ground segregation / alternation)
- ②参照点能力 (reference point ability)
- ③カテゴリー化 (categorization)
- ④比喩能力 (メタファー、メトニミー、シネクドキー)
(figurative use of language: metaphor / metonymy / synecdoche)
- ⑤スキーマ化と事例化 (schematization / instantiation)
- ⑥イメージスキーマの背景化、など

3.1. 図と地の反転 (figure-ground segregation / alternation)



A



B



C



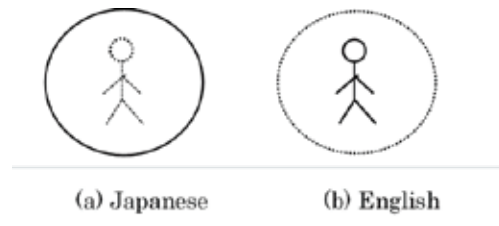
D

(図 1: 図と地の分化・反転)

- 人が対象を見るとき、何かを図（前景化）とし、他を地（背景化）している。これを図と地の分化という。その図と地は上の 4 つの例のように反転できる。このことを図と地の反転という。
- A は、「ルビンの盃」という有名な図であるが、二人が向き合っている図と、盃の図を黒の部分と白の部分のどちらを前景化させるかによってみる事ができる。
- B は、うさぎ・あひるという有名な図。右向きはウサギ、左向きはアヒル。
- C は、向こうを向いている若い女性と、こちらを向いているおばあさん。
- D は、木と湖とカップルの画と胎児。

(例 1) 「ここはどこ？」を英語で表現すると？

- 図と地の反転から言語表現を考えることができる。
- 例 1 は、Where are we? / Where am I? となるが、英語は人を前景化し、日本語は環境を前景化すると考えられる。
- しかし、地図を見ながら話すなら、「私たち今どこ？」のように日本語も人を前景化することもある。



(図 2: 「ここはどこ」/Where am I?)

- 金谷 (2019, p.14) では、日本語は「虫の視点」英語は「神の視点」と言っている。
- 日本語は自分から見える状況を言語表現する傾向があり、英語は、神のように上空へ上がったもう一人の自分が現実界の自分をも客観視する傾向がある。

(例 2) 「お先にどうぞ」を英語で表現すると？

- After you. となり、英語では自分の行為が表現される。
- 日本語の「お先にどうぞ」は相手の行為を表現してる。

(例 3) 「車間距離維持」を英語で表現すると？

- Don't tailgate! となり、運転手の行為が前景化される。
- アメリカの Interstate (州間道路) を走るとよく見かける標識である。

(例 4) 「この辺はよく知らないんです」を英語で表現すると？

- I'm a stranger here. となる。

3.2. <統合性>と<離散性>の反転 (山梨 2000: 77)

(例) staff とスタッフ



Quiz 9: 次の文はどこが間違っているか？

(1) Alisha used to be a staff of this bakery.

(図 3: staff / スタッフ)

- この概念も図と地の反転の1つと考えられる。
- 集合体の個々のメンバーを前景化するか、グループ全体を1まとめにして前景化するかである。
- Quiz 9 の(1)は、日本語のスタッフと英語の staff の違いである。
- 日本語のスタッフは、個々のメンバーを指すが、英語の staff は family 同様に、お店で働いている人全員を纏めて指す語なので、a staff は間違いで、a staff member / a member of the staff / a staffer と表現する。

(2) Reading is one of the best ways to improve your vocabularies.

cf. Vocabularies in some European languages are similar.

- Vocabulary refers to all the words and expression in your brain.なので、vocabulary しなければならない。
- *cf.*のように、「ヨーロッパ言語の語彙は似ているという」文脈では、ヨーロッパ言語はさまざまあり、それぞれが1つの vocabulary を持つので、トータルでは複数形となる。

Quiz 10: 30 parents came to the PTA meeting. How many times did the class teacher say “Hello”?

- The class teacher said “Hello” to all parents.
- The class teacher said “Hello” to each parent.
- The class teacher said “Hello” to every parent.

- all はすべてを1まとめにするので、1回。
- each はそれぞれにアクセスするので30回。
- every は全体も部分もともに前景化した後なので、何回挨拶したのかはわからない。

3.3. 参照点能力 (reference point ability)

あるものを手掛かりに、別のあるものを連想・想起する能力。

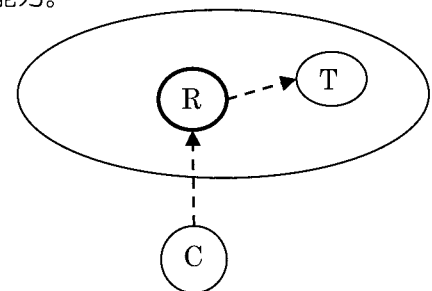
C: Conceptualizer (概念化者・認知主体)

R: Reference Point (参照点)

T: target (ターゲット)

(例 1) お手洗はどこですか？

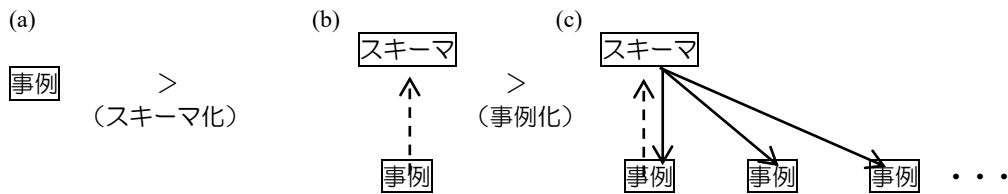
(例 2) Can you answer the door / the phone?



(図 4: 参照点構造)

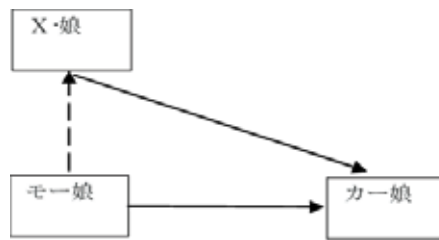
- 例 1 では、「お手洗」で「トイレ」を想起させる。
- 例 2 では、「ドア」「電話」で、ドアの向こうに訪問してきている人/電話をかけてきている人を想起させる。

IV. スキーマ化と事例化



(図 5: スキーマ化と事例化 ※山梨 (2012: 154 図 12) に基づく)

(例 1) X-娘



(図 6: 「X-娘」のスキーマ化と事例化)

(例 2) X-守

久しぶりに会った、マンションの隣人との会話：

A：最近、会いませんね。お元気でしたか？

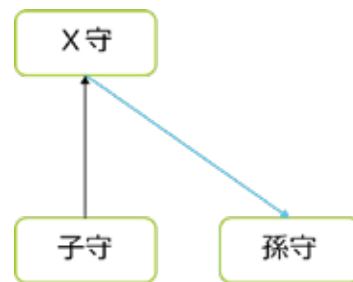
B：ええ、孫守で忙しくて、、、

孫守ってどんな意味でしょう？

①「子守」が「X守」にスキーマ化し、

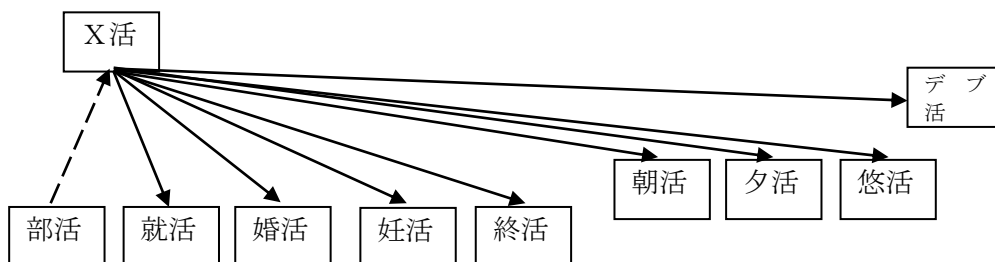
②「X守」が「孫守」に事例化される。

スキーマ化と事例化については山梨 (2012: 154)



(図 7: 「X-守」のスキーマ化と事例化)

(例 3) X-活



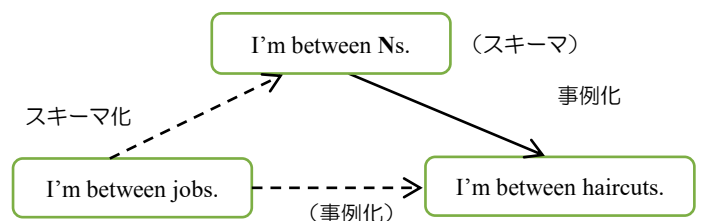
(図 8: 「X-活」のスキーマ化と事例化)

(例 4) I'm between jobs.

Quiz 11: 次の表現の意味は何でしょうか？

A: What do you do?

B: I'm between jobs right now.



(図 9: I'm between Ns.のスキーマ化と事例化)

- I'm between jobs.というのは、時間軸上で、2つの仕事（前にやっていた仕事とこれからやるであろう仕事）がありその間（between）に自分がいる感覚です。
- よって、前の仕事を辞めて、次の仕事を探している状態。つまり、今は仕事はしていないという意味を表します。
- I'm between jobs.という表現の jobs の部分の名詞を他の名詞に代えても、ことば遊び的に意味が理解される表現を作ることができます。
- イメージを一般化すると次のようになります。
- 2つの名詞で表される事態の間に自分がいる感覚です。



Quiz 12: 次の表現の意味は何でしょうか？

Dan: How long have you been between girlfriends?

Jack: Two years.

- between girlfriends は前に彼女がいたけど今はいないので、新しい彼女が欲しいという意味を表します。

(例 5) I have a green thumb.

次の対話を読み、I have a black thumb.の意味を答えてみましょう。

Jack: My mother has a green thumb.

Momoko: Your mother has a green thumb? Is she okay? What happened to her thumb?

Jack: That's not what I meant. It's an expression. I meant she's very good at growing fruit and vegetables.

Momoko: Oh, I'm relieved. But you scared me. I thought her thumb turned green for some reason.

BTW, do you have a green thumb?

Jack: Me, well, ... **I have a black thumb.** Hahaha ...

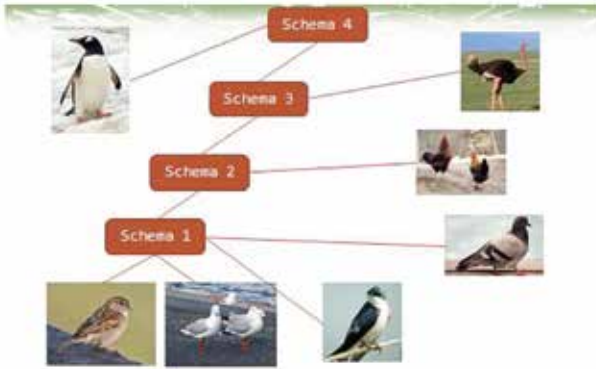
- green thumb ⇒ 緑の野菜を作る親指 ⇒ 野菜作りが上手
- black thumb ⇒ 黒い野菜を作る親指 ⇒ 野菜作りが下手

第6回

認知言語学から言語表現を考える

I. カテゴリー化

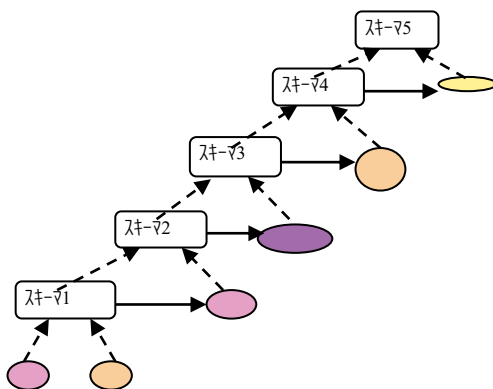
【例】鳥のカテゴリー化



(図1: 鳥のカテゴリー化)

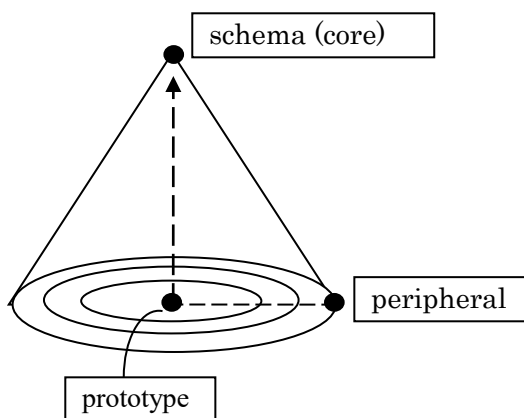
- 「鳥」の例として最初に思い付く例は何ですか？人それぞれでしょうが、スズメ、ハト、カラス、ニワトリなどいろいろあるでしょう。
- 鳥と言っても、くちばしと羽があり、空を飛ぶものばかりでなく、ニワトリやダチョウのように空を飛ばないものも鳥の仲間です。
- 鳥というカテゴリーのメンバーは、みなが同じ条件を持ち合わせてはいないのです。

【一般化（抽象化）すると...】



(図2: カテゴリー化)

- 抽象化すれば、人は、具体例 (units と言います) に出会うことで、それらに共通のイメージ (schema と言います) を立ち上げます。
- そのスキーマでは抽象できない例に出会えば、さらに抽象度の高いスキーマを立ち上げます。
- スキーマは、出会う事例が増えるほど、抽象化されていきますが、前に立ち上げられた抽象度の低いスキーマも破棄されずカテゴリーの中に残るのが特徴です。



(図3: スキーマ, プロトタイプ, 周辺事例)

- カテゴリーのメンバーのうち典型的と思われる事例をプロトタイプ (prototype)、典型ではないと思われる事例を周辺事例 (peripheral) と言います。
- すべての事例を抽象化した概念をスキーマまたはコア (schema / core) と言います。

カテゴリー化の言語における例

Quiz 1: 意味の繋がりは？

- (1) 花・鼻・端（初）（見田 2006: 52）
- (2) 澄む・済む・住む（池上 2011:7¹）
- (3) 橋・箸・端
- (4) 咲く・裂く・割く

- 同じ発音（形）ならその語で表される意味は、似ているか関連しているかで繋がっていると考えます。
- 漢語が輸入される前の奈良時代の日本語では、(1)はファナと言われていました。どれも先端の意味でつながっています。
- (2)は、落ち着く、一件落着という意味で繋がっています。
- (3)は2つをつなぐものの意味で繋がっています。陸と陸をつなぐ橋、食べ物と口をつなぐ箸、繋がれたものの両端をハイライトすれば端。
- (4)は分かれる、割けるイメージで繋がっています。

1.1 Grammar is categorization. 文法もカテゴリー化

A) 語彙：名詞 trunk²

- 多義ネットワーク辞典（瀬戸他 2007: 1013）には次のように記述されている。「木の幹」が中心義。形の類似から「象の鼻」を意味する。また、その機能から「木の幹のような主要部分」を意味し、「(人・動物)の胴体」や「(道路・鉄道・電話などの)幹線」を表す。さらには、「木の幹」を素材と捉えれば「木の幹から作られた大きな入れ物」が展開する。「車のトランク」はその現代的意味である。



(図4：木の幹と象の鼻)

B) 前置詞 in

- | | |
|---|-------|
| 1) Maria is in the classroom. | 物理的空間 |
| 2) Maria is in the curling club. | 社会的空間 |
| 3) a. Maria was born in 1999. | 時間的空間 |
| b. I'll pick you up in 30 minutes. | |
| 4) Maris is in love / trouble / a situation. | 心理的空間 |

- ボールが箱の中にあるイメージがinの基本イメージですが、このイメージが社会空間、時間空間、心理空間で比喩的に用いられています。

Quiz 2: What is the difference between these two?

- a) Alisha painted the picture **in** 2 hours.
- b) Alisha painted the picture **for** 2 hours.

¹ 池上（2011：7）によれば、「漢字の導入以前の古代日本語で「スム」という語の意味がどのように受けとめられていたかを想像するには、構造意味論におけるように語義を<デジタル的>に一つまり、語義を分析し、それを構成すると思われるいくつかの基本的な意味成分を確認し、それらを合成として記述するというやり方ではなく、<アナログ的>に一つまり、認知言語学で<イメージ・スキーマ>と呼ばれる抽象度の高いイメージ的な図式で記述するというやり方で一考えてみるとよく分かる。」

- a)では、アリシャが絵を描くという行為が 2 時間という空間内で起こるイメージから絵が完成した意味になります。
- b)では、アリシャが絵を描くという行為が 2 時間続いたことを表すだけなので、Alisha spent two hours painting the picture. ということで完成したかどうかはわかりません。

C) 名詞 term

- 1) The President's **term** of office is four years.
- 2) The **term** paper is due in two weeks.
- 3) Under the **terms** of their contract, employees must give 3 months' notice if they leave.
- 4) Mr. Robot uses so many technical **terms** in his lecture that I can't make heads or tails of what he's talking about.
- 5) I had a serious argument with Rob last week, so I'm not on speaking **terms** with him.
- 6) In **terms** of money, the former job was better.
- 7) We have found, on the contrary, that metaphor is pervasive in everyday life, not just for language but in thought and action. Our ordinary conceptual system, in **terms** of which we both think and act, is fundamentally metaphorical in nature. (Lakoff and Johnson 1980, *Metaphors We Live By*, p.3)

- term の基本イメージは「枠・制限・限定」です。
- 1)と 2)は時間の枠。
- 3)の契約は行為に枠をはめるイメージ。契約は枠にはめられるイメージがあります。
- 4)の用語は、概念に枠をはめ、名前を付けるイメージ。
- 5)の on (speaking / good / bad) terms with という表現は、限定された人間関係を表す表現で、話の出来る関係、良い関係、悪い関係はそれぞれ限定されたものと考えられる。
- 6)と 7)の in terms of X は「X に関しては」と覚えますが、「X という枠では」と考えてはどうですか？

D) 動詞 run

- a My father **runs** three times a week.
- b Who has left the water **running**?
- c A small stream **runs** behind my cottage.
- d Sara **runs** a coffee shop in this neighborhood.
- e Your nose is **running**.
- f My car is **running** out of gas.
- g "Look how thin you are. How could you work in a restaurant and be so thin?" "Just lucky, I guess. It **runs** in the family." (*Crossroads Café, Episode 1*)

- run の基本イメージは、何かがある方向に向かって途切れずに移動するイメージ。
- d の「経営する」は、時間軸上を、止まらずに続くイメージから、走らせる→運営する→経営すると考えると良い。
- g の It runs in the family.は「そういう家系なんです」という意味。家系図上を性格、体質、病気などが流れるイメージ。

E) 接続詞：since

- 1) **Since** he graduated, he hasn't visited his alma mater.
- 2) **Since** I didn't sleep a wink last night, I couldn't deliver my speech as intended.

- since のイメージは、「起点・出所」。
- 1)は時間的な起点を表し「～以来」。
- 2)では寝られなかったことが、スピーチが思ったようにできなかった原因。原因は起点。

F) 文法要素：過去形

- a I **loved** you so much.

- b **Could** you do me a favor? cf. Can you do me a favor?
 c A: We'll be having a party this coming Friday. Would you like to join us?
 B: I wish **could**, but I have other plans. Can I take a rain-check?

The basic image / core image / schema of past form is distance.

- ① Distance from now (現在からの時間的距離)
- ② Psychological distance from the person you're talking to. (話し相手との心理的距離)
- ③ Distance from reality (現実からの距離)

- 形と意味の記号関係(結びつき)は、語だけでなく、過去形のような文法要素にも言えます。
- 過去形のイメージは距離感です。

G) 構文: S-V-X-Y

Quiz 3: What is the meaning of this sentence?

I'll stand you lunch today.

- V-X-Y と動詞の後に、2つの要素(XとY)が並べて置かれれば、そこには、X be Y か X have Y のどちらかの意味があります。
- you が lunch を have すると考えられ、それを stand (支えて立つ) イメージから、「今日、ランチおごるよ」という意味と理解できる。

- 1) I **gave** Maria a ring.
- 2) I **bought** Maria a ring.
- 3) I **found** John a rewarding job.
- 4) I **promised** Alisha a new smartphone.
- 5) Could you **spare** me a few minutes?
- 6) I **owe** you an apology.

- V-X-Y で X have Y の意味になる Give 型構文。
- カテゴリー化で考えてみましょう。
- どれも結果として X が Y を所有する (have)。
- 1)は「マリアに指輪をあげた」、2)は「マリアに指輪を買ってあげた」、3)は「ジョンに遣り甲斐のある仕事を見つけてあげた」と buy, find では give + α の意味が付け加わっている。
- 4)では、アリシャが新しいスマホを持つことを約束したので、新しいスマホを買ってあげると約束したということ。
- 5)は「私に数分時間を割いて (spare) くれませんか?」の意味。
- 6)の owe は take したので give するという意味。相手に謝罪を give すべきなので、誤らなければならないの意味になる。

Quiz 4: What is funny about this joke?

A: Call me a taxi.

B: Okay. You're a taxi.

- X-Y の並置構文に X be Y と X have Y の2つの解釈の可能性があることを利用したジョーク。
- Aは「タクシーを呼んで」(I HAVE a taxi)と言っているのに、Bはおどけて、「わかった、君はタクシーだね」と(You ARE a taxi.)の意味で解釈している。

X-Y 構文は、① X have Y (所有) か ② X be Y (存在)

所有と存在は近接という概念で関連している。

1.2 同じカテゴリーに分類されるものは、どのようなものか？

- A. 似ているもの ----- メタファー (metaphor)
- B. 関連があるもの ----- メトニミー (metonymy)
- C. 類と種の関係にあるもの ----- シネクドキー (synecdoche)

⇒比喩的に関連するもの

第7回

日英語の日常表現における比喩

I. 比喩と言語表現

1.1. 言葉の中の比喩に注目することで、恣意的である (arbitrary)と思われている表現を動機付け/意味づけ (motivated)をして考えることができる。⇒外国語学習に活用できる。

1.2 arbitrary (恣意的) と motivated (有契的)

1. 恣意的である (arbitrary) (例) 机、desk がそのように呼ばれるのは恣意的
2. 動機付け/意味づけられている (motivated)
(例)「机の脚」英語では? the _____³ of a desk
⇒脚は、人を支える機能を持つ点が比喩的に用いられていると考えられるので動機づけられている。

1.3. Linguistic Motivation とは？

- 言語の恣意性 (arbitrariness) の反対の概念 (⇔有契性)
- ある表現がなぜそのような表現になるのかの意味づけをすること
- 認知言語学の主要な道具立ての1つ。
→人が事態をどう捉えるか、身体性・感性・環境などの視点から説明 (生態論的)

1.4. 比喩と言語表現

Quiz 1. 「肉にしようか?」「肉まん」「肉じゃが」の肉は何の肉?

- 2021年1月の授業でZoomの投票機能を使って授業で93名の受講生に調査してみました。結果は、次の通りでした。
- 「肉にしようか?」: 豚肉 (27名: 29%)、牛肉 (61名: 66%)、鶏肉 (5名: 5%)
- 「肉まん」: 豚肉 (87名: 94%)、牛肉 (6名: 6%)
- 「肉じゃが」: 豚肉 (42名: 45%)、牛肉 (47名: 47%)、鶏肉 (4名: 4%)

³ 正解は、legs です。

Quiz 2. 夕食に卵を 20 個食べられますか？

- 卵と聞けば、鶏卵をイメージして、「いいえ」と答えますが、イクラだったら？と聞かれたらどうだろうか？
- イクラは鮭の卵ですが、卵と言えば、普通は、鶏卵にアクセスします。このようなことばの意味が狭められる比喩をシネクドキーと言います。逆に、Kleenex (tissue のメーカー名) で tissue 一般を意味する意味が広がる比喩もシネクドキーです。

Quiz 3. なぜ、次のように呼ばれるのか？

- a. たいやき b. たこ焼き c. いか焼き d. 親子丼

cf. シュークリーム (chou à la crème)

- 「たいやき」は鯛に似ているから (メトニミーという類似性に基づく比喩)
- 「たこ焼き」は蛸が入った粉ものを表すが、蛸が入っているなのでそう呼ばれます (連続性・隣接性に基づくメトニミーという比喩)
- 「いか焼き」は比喩ではなく、文字通りの表現。いかを焼いたもの。
- 親子丼は、鶏肉と鶏卵が入っているので親子。(一般的な表現で特殊な親子を表すシネクドキーという比喩) Q2 の卵と同じ。
- シュークリームは、フランス語の chou がキャベツの意味であることから、キャベツに形が似ているのでたい焼き同様にメタファー。

1.5. 直喩 (simile) と隠喩 (metaphor/metonymy/synecdoche)

- 直喩は、「～のような」「～みたいな」、like, as, のように比喩であることがわかる明示的な言語表現が入っているものをいう。
- 隠喩は、比喩と分かる表現がないが、ある表現が文字通りの意味とはずれて使われるもので、メタファー、メトニミー、シネクドキーの 3 種類がある。

1.6. 日常言語の中の比喩

- ① Lakoff and Johnson 1980 がメタファー論を展開する以前、メタファーは修辞学の領域にかかわる問題と軽視され、言語表現のみにかかわる現象とみなされてきた。
- ② ある事物・経験を他の事物・経験との関連で理解すること→言語だけでなく、私たちの行動や思考などにも見られる非常に重要な現象。 (cf. 概念メタファー)

【原文では…】 (Lakoff and Johnson 1980, *Metaphors We Live By*, p.3)

We have found, on the contrary, that metaphor is pervasive in everyday life, not just for language but in thought and action. Our ordinary conceptual system, in terms of which we both think and act, is fundamentally metaphorical in nature.

(例) IDEAS ARE FOOD という概念メタファーが存在するので、Have you digested today's lecture? という比喩表現が可能となる。

- You are what you eat. 「あなたはあなたの食べるものである。」つまり、食べ物が健康に影響を与えるという意味の表現であるが、IDEA ARE FOOD という概念メタファーがあるので、You are what you read. You are what you watch on TV.などの言葉遊びも可能となる。

II. 比喩表現

2.1. メタファー表現 (metaphor)

- (1) I can't **stand** it anymore.
(2) My uncle **runs** a bakery.

- stand に「我慢する」、run に「経営する」という意味があるのではなく、英語では「ささえ立てたままにいる」と表現して比喩的に我慢を表していると考えられる。
- run も同様で、パン屋を走らせると表現することで、時間軸上をパン屋が続いて存在するイメージから経営を表していると考えられることができる。

- (3) The finals are **just around the corner**

- (cf.) a. John が角まで来ている。
b. John is just around the corner.
c. マリアの誕生日が角まで来ている。
d. Maria's birthday is just around the corner.

- 日本語では、c のように「マリアの誕生日が角まで来ている」という比喩的な使い方はできないが、英語では、(3)や cf-d のような比喩的な使い方が可能である。
- 日英語の比喩表現は一致しないところが、外国語学習の難しいところであり、かる、興味深いところでもある。

- (4) John puts his family before his job.

⇒この構文も Put your bag on the chair. が比喩的に使われていると考えるとよい。さらに、put を使って、次のようなことも表現できる。

- (a) 郵便局にお金を預けてきた。
(b) 気持ちを言葉で表現できない。

- (4)は、「John が家族を仕事の前に位置させる」と表現することで、仕事より家族を優先するということを表している。
- (a)は、I put money in the post office.
- (b)は、I can't put my feelings into words.
- (b)の表現の背後には、感情をもの、言葉を容れ物と捉えるメタファーがあり、言葉に感情を入れることができないと表現している。
- 入れるプロセスが大変なので、プロセスを焦点化する into が用いられている。in だと結果として入った状態を表す。
- Let's talk in English. の in も英語という容器に言いたいことを入れて話そうということによって in が用いられている。
- 「英語で」という日本語を直訳しようとして、by や with はだめなのかと思ったことがある人もいるかもしれないが、英語では言葉を容器と捉えるメタファーが多く、in English となる。

Quiz 5: What is the meaning of the sentences below?

- (a) The TV show **put** my favorite bakery on the map.
(b) Why don't we **put** it on the back burner for now?

- (a)は、「テレビ番組が、私の好きなパン屋を地図上に位置付けた」と表現し、地図には有名な店などが載るという連想から、「テレビ番組で紹介されて、私の好きなパン屋が有名になった」という意味を表します。
- (b)は「それ（話題になったこと）をバックバーナーに置きませんか？」と表現し、コンロの普通3つあるバーナーのうち、後方にある小さめのをバックバーナーと言いますが、そこには後回しにする料理を置いておくことから、「その話題は、後にしませんか」という意味で会議などで使われる表現です。

(5) Just being on the ice was a remarkable achievement for Ando, who resumed skating after giving birth to a daughter in April. **She had juggled her time between raising her child and training in her quest for Olympic glory.** (The Japan News, December 24, 2013)

- juggle は to keep three or more objects moving through the air by throwing and catching them very quickly (LDOCE) 「3つ以上の物を空中に投げたりつかんだりをすばやくやること」です。
- 英語では、ジャグリングするという表現を2つ以上のことを同時にこなすという比喩的な意味で使います。
- 上の英文では、スケート選手の安藤美紀さんが子育てとオリンピックで勝つための練習の2つをやりくりしたと言っています。

2.2. メトニミー表現 (metonymy)

(1) You're empty.

- メトニミーは、隣接性・関連性に基づく比喩で、あるものを手掛かりに別のあるものを連想・想起させます。ここでの表現はいずれもメトニミーです。
- パーティーなどで使われる表現で、You で Your glass を指していて、「グラスからですよ」という意味。

(2) Don't hang up — there's something else I want to say.

- 電話での会話表現。昔の電話は、通話を終えるときに受話器を文字通りにフックに引っ掛けた (hang up) したことから、通話をやめるという意味で今でも使われる。
- ある種、ことばの化石である。

(3) A car pulled up in front of my house.

- pull up = stop の意味。これも言葉の化石。
- 人は車を使うようになる前は馬車を用いていた。馬車を止めるには、文字通り手綱をひきました (pull up the rein)。

(4) I'll miss you.

- 「あなたがいなくなるとさびしくなります」という決まり表現で覚えている人も多いでしょうが、これもメトニミー。
- miss は catch の反意語で、あるべきものがないことを表します。
- いるべき人がいなくなれば寂しいですね。

(5) Can you answer the door?

- 「ドアに答えて」と言っていますが、ドアに答えることはできませんね。
- ドアでドアの向こうに訪問してきている人を指します。

(6) I have a story to share with you.

- 話を share (共有する) には、話さなければなりませんね。
- I have a story to tell you. ということを表しますが、話すというプロセスでなく、その結果 (話を共有すること) が言語化されています。

2.3. シネクドキー表現 (synecdoche)

(1) If you want to know what Dr. Yellow is, why don't you **google** it?

- シネクドキーは、類（よる上位の概念を表す語）で種（下位概念の1つ）を表したり、下位概念の語で上位の概念を表したりする意味の伸縮にかかわる比喻。
- ググル（グーグルという検索エンジンで情報検索する）と表現し、ネットで情報を検索することを表している。Yahoo をつかってもヤフルと言わず、ググルとといいますね。

(2) While you're in a supermarket, would you pick up five boxes of **Kleenex**?

- アメリカ英語を中心に、Kleenex という tissue のメーカー名で tissue 一般を表す。

(3) Could you **xerox** this document, please?

- ゼロックス社というコピー機の会社名で、「コピーする (make a copy of ~)」を表す。

(4) She is **hoovering** now.

- 掃除機の会社名 (Hoover) で、掃除するということを表すイギリス英語。

(5) Is it bad to put a **band-aid** on a burn?

- バンドエイドという商標で、絆創膏一般を表すシネクドキー。

(6) I'm in a **situation**. Can you help me out?

- 状況 (situation) で困った状況を表す。
- I'm in trouble. と同じ意味。

(7) If you don't hand in the document by tomorrow, there will be **consequences**.

- 結果 (consequence) で困った結果を表すシネクドキー。

(8) I **blew** it!

- 何かを誤って吹き飛ばしてしまいますことは失敗の一例。
- 「吹き飛ばしちゃった！」で失敗したということを表すシネクドキーと思われます。

第8回

認知言語学から翻訳を考える: 日本語と英語の事態把握の違い

I. 「虫の視点」の日本語と「神の視点」の英語

---金谷武洋 (2019) 『日本語と西欧語』講談社学術文庫より

Quiz1 ○に平仮名をひとつずつ入れて、正しい文にしましょう。

風○窓○開○た。

(金谷 2019: 25 より)

- ① 日本人 ⇨ 「風○窓○開○た」が最も多い答え
- ② カナダ人日本語学習者 ⇨ 「風○窓○開○た」と答える
- ③ 日本人は、自動詞構文を好むが、カナダ人は他動詞構文を好む。

- ④ 日本語は「虫の視点」、英語は「神の視点」
- ⑤ 日本語は、話し手と聞き手が同じ地平にいる感覚
- ⑥ 英語は、話し手と聞き手が行為者と受け手という意味で分断される。

(金谷 2019: 27-28)

英語話者は、自分自身を包んでいた自然から自己を引き離し、もはや自分自身さえも対象化して、出来事の外部の上空から客観的に眺める「神の視点」を持つに至った。それに対して、日本語など多くの言語では話者の視点は対象化、客体化されなかった。出来事の内部、地上の「虫の視点」に留まっているのである。(p.19)

- 日本人⇨「風で窓が開いた」が最も多い答え
- カナダ人日本語学習者⇨「風が窓を開けた」と答える

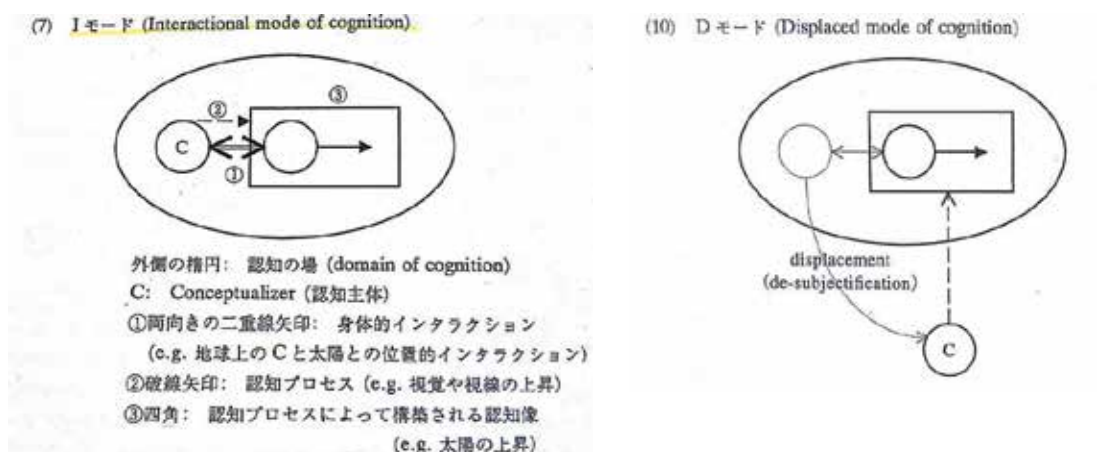
⇨この考え方は、中村の i-mode 認知/d-mode 認知とも親和性がある

II. Iモード認知とDモード認知

Iモード：Interactional mode of cognition

Dモード：Displaced/De-subjectified mode of cognition

中村芳久 (2009) 「認知モードの射程」 in 『「内」と「外」の言語学』 pp.353-393



1. そもそも私たちの認識は、対象とのインタラクション抜きには成立しない。このことは現象学や今日の身体論が明らかにし、とりわけ自然科学としての量子力学が明確にしたことである。(p.353)
2. 認知モード (Iモード、Dモード) の特性
 - a. 認知主体と対象との主客未分の身体的インタラクションを基盤とする。
 - b. IモードからDモードへの移行がある。(p.358)
3. 私たちの認識は、いわゆる客観的に存在するものを単純に外側から見ているのではなく、観る・観られ関係に基づいてはいない。一定範囲の言語分析のために観る・観られ関係を導入することは問題でないが、言語分析を、認識の本質に基づこうとすると、観る・観られ関係の導入では十分でない。(p.358)
4. 人としての身体を有する私たち認知主体となんらかの対象 (や環境) とのインタラクションに基づいて対象の像 (認知像) が形成され、世界が立ち現れる。(p.358)
5. 物が「重い」「軽い」は認知像の例。認知主体の体力や身体的コンディションに影響され、「重い」「軽い」は客観ではない。(p.360)
6. 認知の本質がIモード、あるいはそれに近いものであるにしても、Iモードによって私たちが何らかの外界とインタラクトしながら構築している認知像を、客観的存在として信じこむ性向が私たちにはある。...認知像を客観的存在として信じこむ私たちの認知モードをDモード

と呼ぶ。(p.363)

7. 事実と思い込んでいる認知像が虚構であっても、それほどひどいことにならないのは、生活を営む上で、認知像が情報として一定の範囲では有効な情報であり、それを基に対象に対して適切な対応ができる。(p.363)

III. 日本語の基本文（三上文法論）

（参考文献：金谷武洋（2018）『日本語が世界を平和にするこれだけの理由』飛鳥新社）

日本語の基本文は3つ

- ①名詞文
- ②動詞文
- ③形容詞文

English is a subject-prominent language, while Japanese is a topic-prominent language.

Related to this, Mikami-grammar claims that there are three basic sentences in the Japanese language. Verb sentence, adjective sentence, and noun sentence.

An example of the verb sentence is this.

Tabeta?（食べた?）

--- When you bump into your friend on campus during lunch break, Japanese people usually just say "Tabeta." Since the conversation is done during lunch break, even お昼ごはん (lunch) is omitted in addition to the subject, あなたは.

An example of the adjective sentence is this:

Tanoshi（楽しい!）

An example of the noun sentence is this.

U! Tanaka-san da!（あ、田中さんだ!）

If you use only a verb, adjective, or a noun, you can communicate. When the subject of the sentence can be guessed in context, it's usually omitted.

In contrast, since English is a subject-centered language, expressing the subject of the sentence is a must. You should say the three sentences above as follows:

Have you had lunch, yet?
I'm happy!
I see Tanaka-san over there.

If you directly translate English into Japanese or vice versa, you will say something awkward. For example, if you say "I love you" by directly translating English into Japanese, you would say 私はあなたを愛しています。But no Japanese people would say things like that. They usually say 愛しています。好きです。without referring to the subject as it's very clear who loves you in context.

IV. アフォーダンス (生態心理学の概念) ⁴

1. エコロジカル・セルフ (ecological self : Neisser)

★環境の知覚と自己の知覚は相補的であり、世界を知覚することは、同時に自己を知覚することなのである。(to perceive the world is to co-perceive oneself.)
 ⇒このようにして知覚された自己＝エコロジカル・セルフ

2. インターパーソナルセルフ (interpersonal self)

★環境の中の他者との関係において知覚される自己
 他者との社会的な関わり合いに基づく自己で、アイコンタクトや身体接触などによる情動的なつながりにおいて特定される



マッハの自画像

- 自画像と言えば、自分の顔を科鏡に映して描いたものを思い出すが、マッハの自画像は、自分が見る世界は自分にしか見えない世界ということで自画像という。
- 自分の顔を描いた自画像は、自分を客体として見ているので金谷の言葉で言えば「神の視点」であり、マッハの自画像は「虫の視点」と言える。

V. 事例観察

神の視点/虫の視点・所有/存在・他動詞/自動詞から言語表現をみる

日本語	英語
わからなくなった。	I'm lost. / You lost me.
あっ、割れちゃった	Oh, no. I broke it.
子供が二人います。	I have two children.
お先にどうぞ。(聞き手の行為を表現)	After you. (話し手の行為を表現)
ここはどこですか？(地図を見て、自分の位置を言うなら「私たち今どこ？」のように英語と同様の表現となる)	Where am I?
(雨が降ってきて) ポンと来た。	I felt a raindrop.

- 日本語は「虫の視点」で、自分の視野にある世界を言語化する傾向があるが、英語は「神の視点」で、自分をも客体として言語化する傾向がある。

⁴ アフォーダンスについては、本多啓一 (2005) 『アフォーダンスの認知意味論：生体心理学から見た文法現象』が詳しい。

1. situation focus と person focus

- (1) ここはどこ？ / Where am I?
 (2) ここだけの話ですが / This is just between you and me.

2. 英語話者好みの表現と日本語話者好みの表現⁵

A. BE 言語（日本語）と HAVE 言語（英語）

- (1) a. I have two children.
 b. (私には) 子供が二人います。
 (2) a. This room has two windows.
 b. この部屋には窓が2つあります。

表現形式	〈存在〉	〈所有〉
表現内容	この部屋には窓が2つある ↓ 私には子どもが2人いる 〈BE 言語〉	This room has two windows. ↑ I have two children. 〈HAVE 言語〉

(池上 2006, p.165 より)

*日本語のような〈BE 言語〉では、〈存在〉の表現が拡張されて、〈所有〉の表現がそこに取り込まれているというのに対し、英語のような〈HAVE 言語〉では、〈所有〉の表現が範囲を広げて、〈存在〉までも取り込んでいるというわけである (図 6-1)。(池上 2006, p.165)

B. 〈BE 言語〉から〈HAVE 言語〉へ (cf. 池上 2006, p.165-p.167)

- ① 人間の言語の歴史の中では、もともと〈BE 言語〉であったものが、あとになると〈HAVE 言語〉に移行する顕著な傾向があったことが確認されている。(池上 2006, p.165)
 ② 〈BE 言語〉から〈HAVE 言語〉への移行の背景には何が読み取れるか？
 ⇒〈存在〉という概念と〈所有〉という概念が、〈近接〉という概念でつながれている。
 ③ 〈所有〉…〈人間〉という項に焦点を当てて、それを顕在化。
 〈所有〉の関係が〈存在の〉言語形式で捉えられる場合…〈人間〉は〈(あるものの存在する) 場所〉としての把握に留まる。
 ④ 〈HAVE 言語〉において〈人間〉という項を主語として立てるという形での〈所有〉の表現形式が成立したことの背景は？
 ⇒人間は、さまざまなものを自らの支配下に置いて扱う主体であるという意識の高まりを読み取ることは不可能でなかろう。(池上 2006, p.167)

Quiz: 以下の例も考えてみよう。

- (3) a. We're tying the knot.
 b. 私たちは結婚することになりました。
 (4) a. 外へ出ると、月が明るく輝いていた。(池上 2006, p.192) --英語はどっち？
 b. When I went out, the moon was shining. / c. When I went out, I saw the moon shining.
 (5) a. 国境の長いトンネルを抜けると、雪国であった。(川端康成『雪国』)
 b. The train came out of the long tunnel into the snow country. (E. Seidensticker 訳)
 (池上 2006, p.195)

- (3)結婚することは自分たちが決めたという部分を言語化する英語と結婚することになったのはさまざまな人や置かれた環境のおかげでそうなったと表現する日本語。
- (4)英語では、「神の視点」の c が普通用いられる。
- (5)汽車に乗っている人の視点を描いた日本語に対し、「神の視点」から状況を描いた日本語。

⁵ ここでの例文は、池上 (2006) を引用・参照しています。

E. <人間主語>か<無生物主語>か

(6) a. I was surprised.

b. Something surprised me.

※ a-<私が驚く>という状態を結果としてもたらした<起因>の存在が想定。話し手の関心は、引き起こされた心理的過程が誰に関わるかということであり、引き起こした起因が何であるかということではないことが多いので、起因を明示しなくてもすむ a の構文が都合よく使える。(池上 2006, p.179)

※起因の方により大きな関心がある場合は、その起因に相当するものを目立つ主語の位置に据えた、表現となる。

第9回

認知言語学から翻訳を考える(2)

日英語における捉え方の違いから、日本人英語学習者にありがちな間違いと翻訳を考える

I. 日本語の「思う」の意味は？/ 英語の think とどう違う？

I found out why Japanese learners of English tend to use “I think” more than necessary while reading a paper. The paper’s conclusion is not what I expected, but the process of analyzing Japanese *Omou* was beneficial. Japanese *Omou* has roughly the following three meanings.

A) To show that what you say is just your opinion.

B) To recall something that happened in the past feeling nostalgic about it.

C) To make the whole sentence politer to avoid being assertive.

Japanese learners of English generally memorize the meaning of “think” as *Omou*. That’s why they use *I think* in the contexts where they use *Omou* in Japanese. Besides, the usage of *Omou* C is the most frequent in Japanese.

To use *I think* more appropriately, it’s inevitable to reflect the Japanese meaning of *Omou*. Almost all the Japanese native speakers have not noticed that they use *Omou* to make what they say sound softer or polite.

This difference between Japanese and English is also related to Kanaya’s idea that Japanese is an insect-view language, while English is a God-view language. I will consider this point from now on.

II. 日本語の「できた/できました」の意味は？/英語の can/could とどう違う？

I found out why Japanese learners use *could* where they should use *managed to* or *was able to* recently. It’s due to the meaning of Japanese *dekita/dekimashita*. Not all, but almost all Japanese learners of English, memorize the meaning of *can* is *dekiru* and *could* is the past form of *can*. What are the meanings of *dekita*, which is the past form of *dekiru*? The prototypical meaning that all the native Japanese speakers can think of off the top of their head is A.

A) was able to / managed to

I recently noticed *dekita* has another meaning that most native Japanese speakers have not noticed, as shown in B.

B) (ogagesamade) dekimashira.

The first part, *okagesamade*, which literary means thanks to everyone or the environment, is not usually expressed, but Japanese people use *dekimashita* in this meaning regardless of whether they

realize it or not. A Japanese way of looking at things underlies this expression; everything is connected and influence each other. A well-known example is (1) below.

(1) *Konotabi ketsukon surukotoni narimashita.* (この度、結婚することになりました。)

If literary translated, (1) will be (2)

(2) The event that we get married will happen.

However, in natural English, you should say (3).

(3) We've decided to get married. / We are going to get married.

The English language expresses the phase that getting married is the couple's decision. In Japanese, thanks to several factors, such as the couple's family, friends, or colleagues at the workplace, and their environment, they were able to make it possible for them to get married. The B meaning of *dekimashita* has something in common with this example. For example, Japanese people usually say (4).

(4) *Kigen madeni report o dasukotoga dekimashita.*
(期限までにレポートを出すことができました。)

In (4), I think *okagesamade* is hiding behind this sentence. Thus, *dekimashita* in this sentence does not mean *managed to*. So, when you express this idea in English, you should not use any of *could*, *was able to*, or *managed to*. Just describing the concept by using the simple past form is enough, as shown in (5).

(5) I **handed** in the report by the deadline.

However, many Japanese learners of English use *could*, in this situation, misunderstanding that *dekimashita* as a part of *okagesamade dekimashita* means a specific success in the past.

There appears another problem here. *Could* is used to talk about a general ability in the past, but it can't be used to talk about a specific success in the past. When you talk about a specific success in the past, you should use *managed to* or *was able to*. Even if you use *managed to* or *was able to*, it doesn't seem to express the idea of (4). Just using the past form, as in (5), is enough.

III. 日本語の「ている」を英語で表現すると？

How do you put these Japanese sentences into English?

(1) Alisha はカーリング部に入っている。

(2) 真一は大学を3つ出ている。

(3) 花子はアメリカに3回行っている。

(4) 仕事は何をしているの？

(5) 雪が降っている。

※参考文献

宗宮喜代子・糸川健・野本裕樹『動詞の「時制」がよくわかる英文法談義』(大修館書店, 2018)
pp. 51-53 を参照

- (1) Alisha belongs to the curling club. / Alisha is a member of the curling club.
- (2) Shinichi graduated from three universities.
Shinichi has three college diplomas.
- (3) Hanako has been to America three times.
- (4) What do you do (for a living)?
- (5) It's snowing.

IV. she/he = 「彼女/彼」？

- (1) 友達を持っているものが何か知りたくて「それ何？」と言いました。英語ではどういいますか？
- (2) 彼女は医者です。
- (3) 昨日、友達に遭って聞いたんだけど、その子の大学、後期 11 月からなんだって。
- (4) A: I bumped into Oni-chan at FEEL Stage Yagoto yesterday.
B: Who is she?

A: 昨日フィール八事ステージで、鬼ちゃんに会ったよ。

B: ① 彼女誰？/ ②それ誰？/ ③鬼ちゃんって誰？

- (1) What is that?
日本語では、指し示す言葉は「これ/それ/あれ」と3つありますが、英語では **this/that** の2つです。it は指し示す言葉でなく、共通理解しているものを受ける言葉です。日本語では、何もいわないので、it に対応する日本語はありません。よって、(1)は相手が持っているものを指し示すので **that** を用います。日本語の「それ」につられて it を使わないように気を付けましょう。
- ちなみに相手が何かを見せながら、**I bought this yesterday**, といい、それが何かわからなくて尋ねる場合は、共通理解しているので、**What is it?** と it を使います。
- (2)の文を多くの方は、**She's a doctor.** といいますが、この文を聞くとネイティブは **She** って誰？と疑問を持ちます。もちろん、**She** が誰のことを指しているかが共有されていれば OK です。
- ある学生は、**My girlfriend is a doctor.** と答えましたが、これはある意味大正解ですね。日本語で彼女と言え、自分のガールフレンド（恋人）を表しますね。
- (3) **I heard from a friend that his/her university's fall semester starts in November.** 英語は、受ける言葉 (he/she/it/they) を使う言語なので、友達が男性か女性かによって **his** か **her** を使って受けなければなりません。
- (4) 英語では、一度文脈に出てきて共有された鬼ちゃんが誰かわからない場合、**she** で受けて **Who is she?** と言えますが、日本語では、①は不自然で、②か③を使います。

第 10 回 言語能力とコミュニケーション能力

I. Canale & Swain (1984) コミュニケーション能力

コミュニケーション能力の下位区分4つ

(1) grammatical competence 「文法能力」

--- *Colorless green idea sleeps furiously.* (N. Chomsky)

- この文は、「色のない緑のアイディアは怒って眠る」と意味をなさない表現ではある。
- しかし、英語の文の語順は合っている。
- 意味をなすかなさないかは別として、英語の語順・文法にかなった文を生み出す能力をここでは文法能力と呼ぶ。

(2) sociolinguistic competence 「社会言語学的能力」

TPO (Time/Place/Occasion) に応じた言葉の使い方

Quiz: AさんとBさん、どちらがレストランに入れたと思いますか？

A: “Two.” “Sorry, we’re fully booked.”

B: “I see that you’re having a busy night. We don’t have a reservation, but would you have a table for two people any time soon?” “Let’s see... Actually, all of our tables are booked, but we can seat you at the counter in 10 minutes if you like.”

(田村明子 2004 『知的な英語、好かれる英語』 NHK 出版: p16)

- 言語は服装やヘアスタイルのようなもので、状況に応じた使い分けが必要である。
- 言語を状況に応じて使い分けられる能力を社会言語学的能力と呼ぶ。
- 上の Quiz では、言葉を凝らして丁寧に表現した B さんの方がレストランに入れたという話である。

(3) discourse competence 「談話能力」

- Cohesion & Coherence

cohesion (文法的つながり)

(例 1)

A: What are the police doing? (警察は何をしていますか?)

B: They are arresting demonstrators. (デモ隊を逮捕しようとしています)

- coherence (文脈的つながり)

(例 2)

A: What are the police doing? (警察は何をしていますか?)

B: I have just arrived. (私はいま来たばかりです)

(例 3)

A: That’s the telephone. (電話だよ)

B: I’m in the bath. (今お風呂)

A: O.K. (わかった)

- 会話のキャッチボールができる能力を談話能力/語用論的能力と呼ぶ。
- (例 1) では、**They = the police** のことで、対話は文法的に繋がっている。
- (例 2) では、一見関係のないことを B は答えているように見えるが、「今来たばかりなのでわかりません」という意味で、今来たばかりと言っているとわかれば、対話は文脈的に繋がっている。
- (例 3) も文脈的につながった対話である。「電話ですよ。」「今お風呂なので出られない」「わかった」ということである。B は、**I'm in the bath.** と電話に出られない理由だけを提示しているが、だから出られないんだと A は理解してくれる。

(4) strategic competence 「方略的能力」

If you can't come up with how to express 同僚 in English, what would you do?

- 言いたい言葉や名前が思い出せない時に、別の表現で意図を伝える能力を方略的能力と言う。
- 同僚を **colleagues / co-workers** と言えれば良いが、思い出せない時には、**people I work with** のように表現する能力である。

II. Phatic Communion (communication)

○ phatic

- 【OALD】 relating to language used for social purposes rather than to give information or ask questions.
- 【G 大英和】：(言葉が) 交感的[交話的]な、交際言語の≪内容よりも社交性や雰囲気づくりを目的とする≫

Quiz 1: Phatic Communion の具体例を話しあってみましょう。

- 情報交換ではなく、人間関係の確認や気持ちのやりとりに使われる言語表現で、文字通りの意味で使われているのではない。
- 「元気？」**How are you?**などが例で、相手の健康状態を聞いているのではなく、単なる挨拶である。
- **How are you?**に対する答え方としては、**Good. / Not bad. / Great**などの他、**How are you?**と言いつつ返すだけというものがあることから **Phatic communion** とわかる。
- 中国の田舎では、「ご飯食べましたか？」という **Phatic communion** がある。

III. Pragmatics 「語用論」

1. Pragmatics とは？

- Pragmatics is the study of speaker meaning.
(話し手の意味の研究)
- Pragmatics is the study of contextual meaning.
(文脈における意味の研究)
- Pragmatics is the study of how more gets communicated than is said.
(言葉で言われること以上の内容がどうして伝わるかに関する研究)
- Pragmatics is the study of the expression of relative distance.
(相対的距離表現に関する研究)

- a. 例えば、「寒い」という文の意味が「気温が低い」だとしたら、これは文の意味である。一方、暖房が聞いていない部屋で「この部屋寒いね」と言えば、暖房の温度を上げて欲しいということをお話し手は意図しているかもしれない。だとしたら、これは話し手の意味、つまり、語用論的な意味ということになる。
- b. 例えば、“Would you like some coffee?”という質問に“**It keeps me awake.**”と答えたら、この人は珈琲を飲みたいのだろうか？意味は文脈次第である。夜寝る前であれば、目が覚めるのでいけないということだろうが、眠気を堪えて、試験勉強をしなければならぬなら。目が覚めるので飲みたいということになるだろう。
- c. この講義の初めに紹介した、**Don't think of an elephant.**や **mayor** の話を思い出してほしい。言葉で表現されていること以上が、伝わる例である。
- d. 物理的、社会的、心理的距離に応じて、どこまで言語表現するかが調整されるという問題である。お互いがわかっているならば、「あれってどうなった？」という表現でもコミュニケーションが成り立つのである。

2. 協調の原則, グライス (Cooperative Principle, P. Grice)

- ① 量の格率 …
- ② 質の格率 …
- ③ 関係の格率 …
- ④ 様態の格率 …

- 人がコミュニケーションする際に、お互いが守っていると期待される原則である。
- もちろん諸般の事情から破られることは多くある。
- ①は、情報量は多すぎても少なすぎてもいけない。
- ②は、本当のことを言わなければならない。
- ③は、会話の流れに関係のあることを言わなければならない。
- ④順序だてて、わかりやすく伝えなければならない。

[例]どこが協調の原則に違反しているため、誤解が生じたかを考えてみよう。

Man: *Does your dog bite?*

Woman: *No.*

(The man reaches down to pet the dog. The dog bites the man's hand.)

Man: *Ouch! Hey! You said your dog doesn't bite.*

Woman: *He doesn't. But that's not my dog.*

- 男性が、目の前の犬が女性の犬かどうかを聞かなかった点は、量の格率違反である。
- 女性が、目の前にいる犬でなく、自宅にいる自分の犬のことを答えたのは、関係の格率違反である。
- 女性は、目の前の犬が自分の犬ではないことを最後ではなく、初めに言う必要があったので、様態の格率違反である。
- うそはついていないので、質の格率には違反していない。

参考文献のリスト

- Fillmore, C.J. (1982) 'Frame Semantics,' in *Linguistic Society in Korea* (ed.). (pp.111-137)
- Goldberg. A.E. (1995) *Constructions - A Construction Grammar Approach to Argument Structure*. Chicago. The University of Chicago Press.
- 池上嘉彦 (2006) 『英語の感覚・日本語の感覚』NHK 出版, 東京.
- 池上嘉彦 (2011) 「言語研究のおもしろさ」 in 大津由紀夫編『ことばワークショップ』開拓社, 東京
- Imai. T. (2007) 'A Study of Typical Errors Made by Japanese Learners of English from the Viewpoint of Cognitive Motivation,' 『中部地区英語教育学会 紀要 36 号』 (pp. 301-308)
- 今井隆夫 (2011) 「認知文法を参照した学習英文法設計の観点から、動詞の 2 つの用法の整理を試みる」 『日本認知言語学会論文集 第 11 巻』,266-276
- Imai. T. (2013) 'A Practice in the classroom: How to let Japanese learners of English notice differences in construal between Japanese and English,' 『中部地区英語教育学会紀要 第 42 号』 (pp. 203-210)
- 今井隆夫 (2013) 「知覚構文の教え方を認知言語学の言語観をから整理する」 『日本認知言語学会論文集 第 13 巻』,549-555
- 今井隆夫 (2014) 「学習者の持つ認知能力の活用を基盤とする学習英文法」 『教科開発学論集 第 2 号』 愛知教育大学大学院・静岡大学大学院教育学研究科 (pp. 65-73)
- 今井隆夫 (2014) 「認知言語学及び教科開発学の観点から言語教育におけるダイナミズムと多様性の扱いを考察」 『日本認知言語学会論文集 第 14 巻』 (pp. 553-559)
- Imai. T. (2014) 'A Practice in the Classroom: How to Get Learners to Recognize Cognitive Motivation of Constructions,' 『中部地区英語教育学会紀要 第 43 号』 (pp. 169-176)
- Imai. T. (2014) 'Practice of Image Grammar for Communication in the Classroom.' *Foreign Language Education 2014 International Conference, Institute of Foreign Language Education at Hankuk University of Foreign Studies(Proceeding)*, P15~P20, Seoul. <invited speech>
- 今井隆夫 (2015) 「言語教育における異化教育の一環として、認知様式の違いと言語表現の違いを考察する—「奈良時代の日本語」・「漢語」・「英語」の場合—」 『日本認知言語学会論文集』 第 15 巻 (pp.519-525)
- 今井隆夫 (2015) 「英語学習における Cognitive Motivation Model: 母語話者の持つ英語感覚の学習を認知言語学の視点から考察」 山梨正明他編『認知言語学論考 12』 ひつじ書房. P207~P259
- Imai, T. (2016) The Effects of Explicit Instruction of "Image English Grammar for Communication" on Tertiary English Classes, *Journal of Annual Review of English Language Education in Japan*, 27, 137-152.
- 今井隆夫 (2016) 「学習者の持つフレーム知識を活用したコミュニケーションのための感覚英文法：反意語を意識することで類似した 2 つの表現の意味を捉える」 『日本認知言語学会論文集』 第 16 巻 (pp.433-439)
- 今井隆夫 (2016) 「学習者の Analogy 力を活用した英語学習：I'm between N's 構文を中心に」 in 大森裕實・北尾泰幸・今井隆夫「大学言語教育観に適応する多元的学習英文法の新展開」 『ことばの世界』 第 8 号. 愛知県立大学高等言語教育研究所 (pp.26-33)
- 今井隆夫 (2018) : 「認知文法におけるグラウンディング理論と学習英文法」 in 「ことばのパーспекティブ」 (中村芳久教授退職記念論文集刊行会編) (pp.476-487) を単独執筆, 東京: 開拓社
- 金谷武洋 (2019) 『日本語と西欧語』 講談社学術文庫
- 河上誓作編著『認知言語学の基礎』 東京: 研究社
- Lakoff, G. & Johnson. M. (1980) *Metaphors We Live By*. Chicago: The University of Chicago Press.
- Lakoff, G. (2004) *Don't think of an elephant!: Know your values and frames*. Chester Green Publishing Company
- Langacker, R. (1987) *Foundations of Cognitive Grammar, Volume 1, Theoretical Prerequisites*, Stanford University Press.
- Langacker, R. W. (2002). *Concept, Image, and Symbol – 2nd Edition*. Berlin, New York, Mouton de Gruyter.
- Langacker, R. W. (2008a). *Cognitive Grammar: A basic Introduction*, New York, Oxford University Press.
- Langacker, R. W. (2008b). 'Cognitive Grammar as a basis for language instruction' In P. Robinson and N.Ellis (eds.) *Handbook of Cognitive Linguistics and second language acquisition*. New York: Routledge.
- Lee, D. (2001). *Cognitive Linguistics: An Introduction*, New York, Oxford University Press.
- (宮浦国江訳 (2006) 『実例で学ぶ認知言語学』 大修館書店, 東京.)

Littlemore, J. and Low, G. (2006) *Figurative Thinking and Foreign Language Learning*. New York: Palgrave Macmillan.

Littlemore, J. (2009) *Applying Cognitive Linguistics to Second Language Learning and Teaching*. New York: Palgrave Macmillan.

見田宗介 (2006) 『社会学入門-人間と社会の未来』 岩波新書

松本 曜編 (2003) 『シリーズ認知言語学入門 3: 認知意味論』 大修館書店

梶山洋介 (2002) 『認知意味論のしくみ』 研究社

梶山洋介 (2010) 『認知言語学入門』 研究社

中村芳久 (2009) 「認知モードの射程」 in 『「内」と「外」の言語学』 pp.353-393

中村芳久 (2016) 「ラネカーの視点構図と(間)主観性—認知文法の記述力とその拡張」 『ラネカーの(間)主観性とその展開』, 中村芳久・上原聡(編), 1-51, 開拓社, 東京.

Radden, G. and R. Dirven (2007) *Cognitive English Grammar*, John Benjamins, Amsterdam.

鈴木孝夫 (1973) 『ことばと文化』 (岩波新書 C98) 東京: 岩波書店

Taylor, J.R. (2002) *Cognitive Grammar*, Oxford University Press, New York.

Taylor, J.R. (2012) *The Mental Corpus: How Language is Represented in the Mind*. Oxford: Oxford University Press.

Tomasello, M. (2000) 'First steps toward a usage-based theory of language acquisition,' *Cognitive Linguistics*.

Tomasello, M. (2002) 'A Usage-Based Approach to Child Language Acquisition,' *Studies in Language Sciences*.

山梨正明 (2000) 『認知言語学原理』 くろしお出版, 東京.

山梨正明 (2009) 『認知構文論—文法のゲシュタルト性』 大修館書店, 東京.

山梨正明 (2012) 『認知意味論研究』 東京: 研究社

認知言語学的な英語学習/教育に役立つ本

阿部 一 (1998) 『ダイナミック英文法』 研究社出版, 東京.

池上嘉彦 (1991) 『英文法を考える』 (ちくまライブラリー56) ,筑摩書房, 東京.

今井隆夫 (2010) 『イメージ捉える感覚英文法—認知文法を参照した英語学習法』 開拓社, 東京.

今井隆夫 (2019) 『実例とイメージで学ぶ—感覚英文法・語法』 開拓社, 東京.

Keene, D・松浪 有 (1969) *Problems in English – An Approach to Real life of the Language*. (英文法の問題点—英語の感覚), 研究社出版, 東京

中川右也 (2010) 『教室英文法の謎を探る』 開拓社, 東京.

大西泰斗・ポール・マクベイ (1995) 『ネイティブスピーカーの英文法』 研究社, 東京.

大西泰斗・ポール・マクベイ (2011) 『一億人の英文法』 東進ブックス, 東京.

大西泰斗・マクベイ, ポール (2017) 『総合英語 FACTBOOK これからの英文法』 桐原書店

大西泰斗・マクベイ, ポール・エバンス, デイビッド (2018) 『英語表現 WORD SENSE: 伝えるための単語力』 桐原書店

ピーターセン・マーク (1990) 『続 日本人の英語』 岩波書店, 東京.

ピーターセン・マーク (2010) 『日本人が誤解する英語』 光文社, 東京.

田中茂範・川出才紀 (1989) 『動詞がわかれば英語がわかる』 The Japan Times, 東京.

田中茂範 (2006) 『NHK テレビ 新感覚キーワードで英会話』 NHK 出版, 東京.

田中茂範 (2013) 『わかるから使える—表現英文法』 コスモピア, 東京.